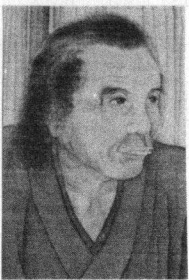


相馬九方 きりま きうほう 儒者。享和元年讃岐國高松生れ、明治十二年三月十一
十八日歿（二八〇一七九）。舊姓片山、諱肇、字元基、通稱一郎。別號鸞
齋逸史、茅海逸老、逸老肇等。中山城山、高尾竹溪の學ぶ。天保元年
上洛して塾を開き、新宮涼庭、春日潜菴、藤澤東政等と親交。嘉永四
年涼庭の推舉を以て岸和田藩の儒官に列した。池田草庵、土屋鳳洲は
その門下。



木南卓一著「相馬九方」附「誠堂詩文存」(昭和五十二年十一月大阪
・アートビジネスセンター)刊。